

## 旧水田家住宅

重厚な長屋門の入口が額となって、茅葺の寄棟造の母屋が望まれる。東側を土間とし、囲炉裏を切った十五畳の座敷を中心に、五室からなる豪農の家である。西側に縁側をそなえ、南面に瓦葺の下屋を差し掛けた房総民室の特徴を示している。

長屋門の左右には、それぞれ牛小屋が置かれ、かつて嶺岡牧場と関わる酪農を営んでいたことを物語っている。

これら母屋、長屋門は、優に、百数十年以上経て居り、貴重な文化財として、文化庁に登録されているが、篤農の堅実さと、安房特有の進取の気象の見事な結晶とあってよい。また、この家屋の一隅にある書斎から、遠き潮騒を夢見ながら、ひとりの有為な青年が巣立っていった。城西大学の創立者、水田三喜男である。戦後の日本経済再建の偉業は、そのまゝ継承され、「学問を通じての人間形成」の理念となった。その母胎こそ、まさに、この家屋なのである。

城西国際大学 水田記念図書館長 井上辰雄

## 水田三喜男略年譜



- 明治38年 4月13日 千葉県安房郡曾呂村に出生
- 大正元年 4月 曾呂村尋常小学校入学
- 大正13年 3月 千葉県立安房中学校卒業
- 昭和 6年 3月 旧制水戸高等学校を経て京都帝国大学法学部卒業
- 昭和 9年 1月26日 町田均氏次女清子と結婚
- 昭和21年 4月10日 第22回衆議院選挙で自由党から出馬、初当選
- 昭和27年 1月23日 自由党政調会長
- 昭和29年 7月29日 自由党政調会長
- 昭和30年11月15日 自由民主党結成、初代政調会長
- 昭和31年12月23日 石橋内閣、通産大臣
- 昭和32年 2月25日 岸内閣、通産大臣
- 昭和35年 7月19日 第1次池田内閣、大蔵大臣
- 昭和35年12月 8日 第2次池田内閣、大蔵大臣
- 昭和40年 1月25日 城西大学創立、初代理事長
- 昭和40年 4月20日 城西大学開学式、初代学長（理事長兼務）
- 昭和41年 7月29日 自民党政調会長
- 昭和41年12月 3日 第1次佐藤内閣、大蔵大臣
- 昭和42年 2月17日 第2次佐藤内閣、大蔵大臣
- 昭和45年 1月10日 自民党政調会長
- 昭和46年 3月 2日 永年勤続議員表彰（連続13期衆議院議員）
- 昭和46年 7月 5日 第3次佐藤内閣、大蔵大臣
- 昭和47年 1月 5日 日米首脳会議出席  
（佐藤栄作首相、水田三喜男蔵相、福田赳夫外相、田中角栄通産相）
- 昭和51年 4月29日 勲一等旭日大綬章叙勲
- 昭和51年12月22日 病氣にて急逝、享年71歳、従二位に叙位される



### 交通機関

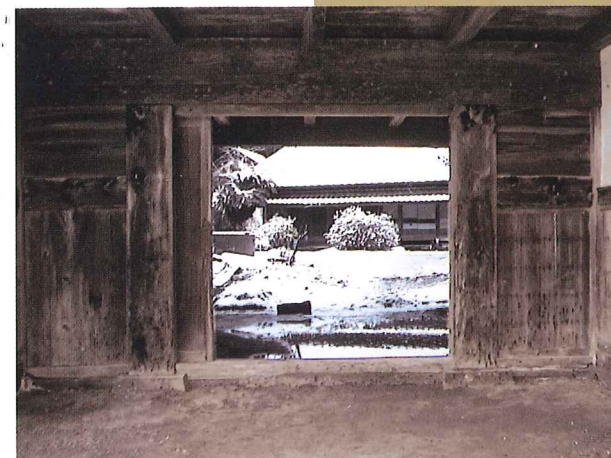
- JR外房線  
東京駅発 7:32 → (蘇我駅乗り換え) → 安房鴨川 10:18 (休日ダイヤ)  
東京駅発 7:34 → (蘇我駅乗り換え) → 安房鴨川 10:18 (平日ダイヤ)  
東京駅発 9:00 → 安房鴨川 10:53 (平日・休日ダイヤ共通)  
東京駅発 11:00 → (勝浦駅乗り換え) → 安房鴨川 13:10 (平日・休日ダイヤ共通)
- バス（アクシー号）（平日・休日ダイヤ共通）  
京成高尾バス予約センター（ご利用前日の17時まで） ☎0120-889-055  
東京駅八重洲口発 7:35 → 安房鴨川 9:42  
東京駅八重洲口発 8:20 → 安房鴨川 10:27  
東京駅八重洲口発 11:50 → 安房鴨川 13:53
- 安房鴨川駅から旧水田家住宅  
鴨川日東バス（平日・休日ダイヤ共通）  
安房鴨川駅 10:45 → 曾呂終点 11:18 (徒歩約20分)  
安房鴨川駅 14:10 → 曾呂終点 14:43 (徒歩約20分)  
※交通機関の時刻につきましてはあらかじめご確認ください。

■一般公開:午前9時～午後5時 定休日:火曜日■

所在地	千葉県鴨川市西字西平良339-1		
概要	敷地	2582㎡	
	母屋	155㎡	木造平屋建 茅葺
	長屋門	82㎡	木造平屋建 瓦葺
	管理事務所	39㎡	木造平屋建 瓦葺
計画開始	平成13年1月		
再生工事	平成14年2月～平成14年10月		
全体計画	大田建築設計研究所		
再生設計	O設計室		
外構計画	PLACEMEDIA		
施工	大林組		
連絡先	旧水田家管理事務所	0470-99-3110	
	城西大学	049-271-7712	
	城西国際大学	0475-55-8800	
	鴨川市教育委員会	0470-93-7843	
	生涯学習課		

# 旧水田家住宅

文化庁 登録有形文化財



学校法人 城西大学





母屋全景

## ご挨拶

このたび国の登録有形文化財として登録されました旧水田家住宅は、戦後壊滅的な経済状況にあった我が国を、政治家として経済の再建・教育への支援に一心に取り組み、日本社会の飛躍的な復興に全力を注がれた故水田三喜男先生の生家であり、今回文化財の対象となりました母屋、長屋門は水田三喜男先生の誕生から安房中学校進学までの成長を見守ってきた建物です。

水田先生は、政治活動と共に教育にも大変力を注がれ、『学問による人間形成』を建学の精神として、昭和40年に埼玉県坂戸の地に城西大学を創立、人材の育成にあたられ、今日までその精神は引き継がれております。

また、平成4年には学校法人城西大学水田清子理事長のもと、千葉県東金の地に城西国際大学も創立され、すでに開学10年を迎え充実した総合大学となっています。

私たち同窓生は、城西大学同窓会創立30周年記念事業として、創立者の偉業をたたえ、城西大学の建学の精神はもとより、後世にそのご功績を永遠に伝えるために、創立者水田三喜男先生の生家を学校法人城西大学の支援を受けて、修復・保存することといたしましたので、地元鴨川市をはじめ多くの方々にご覧いただきたいと願っております。

平成14年11月吉日

城西大学同窓会 会長 佐藤鉄也  
城西国際大学同窓会 会長 姜 奈江

## 水田家の由来

旧水田家が存する旧曾呂村（鴨川市）は、嶺岡山脈の南麓を東から西へ通じる道を中心とした五百戸余りの山村であり、嶺岡山は、わが国酪農の発祥地として知られている。

江戸時代からこのあたりでは毎年五月、たいへんなにぎわいの中、馬捕りの行事が行われており、そこに幕府の役人が来て牛馬を見定める場所を陣屋と称したが、庄屋のような役割を果たし、村の指導的立場にあった水田家は、この陣屋と地続きとなっていた。また、江戸後期につくられたこの家は、大正12年の関東大震災でも近隣の建物がほとんど崩壊した中、残ったのであった。

水田家は、400年以上前に四国讃岐から移ってきたものといわれている。明治中頃の水田家当主水田竹蔵は、英国から初めて輸入されたホルスタイン種牡牛を飼育したことによって、酪農史にその名を残している。塾に学んで帰った当時の新知識人であり、初代の戸長、村長として信望をあつめていた。その息子信太郎も村長をつとめ、その在任中、県下にさがけて村内の学校数校を一校に統合、近代校舎を建て、村の教育に貢献した。信太郎には6男2女が生まれたが、男兄弟だけでなく姉妹2人を含む8人全員がその当時の高等教育を受け、この山村から中央に出て、財界・政界・教育界で活躍したのであった。そのなかの3男が、京都大学法学部で学び、のちに通産大臣や大蔵大臣を歴任し、城西大学を創立した水田三喜男であり、ここで生まれ、安房中学までを過ごした。



長屋門全景

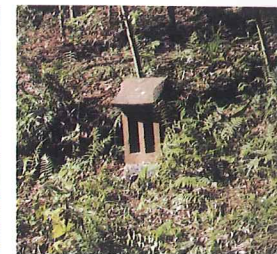
## 建物概略

母屋は桁行15.8m、梁間11.1m規模の寄棟造、平入りのもと茅葺農家で、東側を土間とし、床上は囲炉裏を切った15畳の座敷を中心に食違いの5室構成である。西側に縁側、南面には瓦葺の下屋を差し掛けるなど房総民家の特色を持つ。建設年代は江戸後期と推測される。（登録有形文化財第12-0042号）

長屋門は桁行16.4m、梁間5.5m規模の寄棟造、棧瓦葺、出桁造の建物で、全体的に太い材が使用され、正面右1室と左2室を牛小屋とする点に特徴がある。江戸時代以来の酪農地である嶺岡牧場の歴史を伝える建造物として貴重である。建設年代は母屋と同時期が明治初期と推測される。（登録有形文化財第12-0043号）



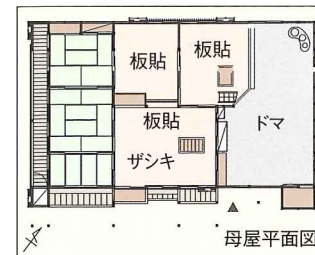
母屋 内観



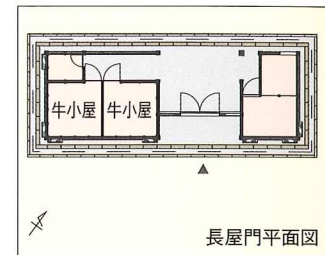
水神



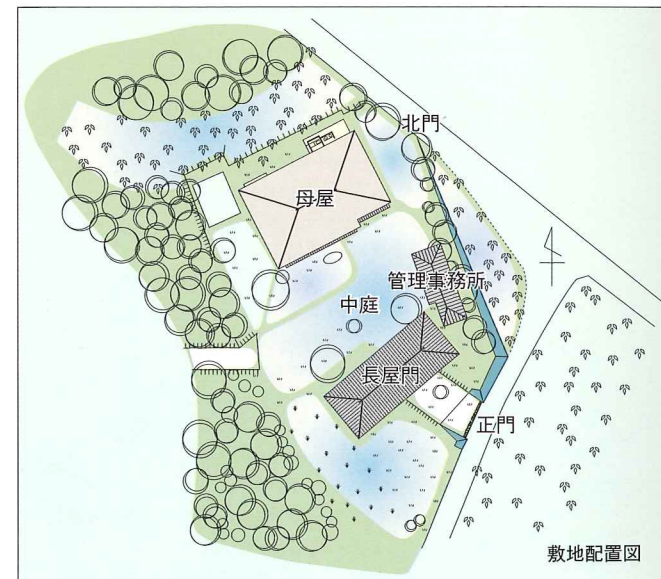
管理事務所



母屋平面図



長屋門平面図



敷地配置図